



	12月			1月			
	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	15.0	18.5	53.5	18.2	12.3	15.4	64.5
平年	15.1	17.9	104.2	19.0	13.1	16.1	114.6
平年との差	- 0.1	+ 0.6	-50.7	- 0.8	- 0.8	- 0.7	-50.1

さとうきび生産農家の皆さま、日頃よりさとうきび生産にご尽力いただき心より感謝申し上げます。

昨年9月に社長を拝命して以来、皆さまの現場での真摯な取り組みや地域を支える強い思いに触れ、改めてこの産業の大きさと責任の重さを実感しております。今期も収穫・搬入が本格化し、島全体が活気づく季節となりました。皆さま一人ひとりの努力が地域の基幹産業を支え、未来へとつながる力となっています。会社としても、品質向上や安定生産に向けた取り組みをさらに進め、現場の声を丁寧に伺いながら、改善を積み重ねてまいります。また、若い担い手の育成や省力化技術の導入など、次の世代につながる仕組みづくりにも力を入れてまいります。皆さまと共に、持続可能で誇れる「さとうきび産業」を築いていくことが私に与えられた大切な使命だと考えております。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期です。お体をご自愛し、どうか安全第一で作業を進めていただければ幸いです。本年も、皆さまと共により良いさとうきびづくりに取り組んでまいりますので引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

生和糖業株式会社
代表取締役社長
おおつき かずひろ
大月 一浩

2025年9月に生和糖業の
代表取締役社長に就任しました。
よろしくお願いいたします！

1966年生の丙午（ひのえうま）59歳！

--- 好きな言葉 ---
当たり前のことを当たり前

--- 趣味 ---
バードウォッチング・釣り・バイク
ラグビー観戦・スキー・コナン他

--- ひとこと ---
皆さまといろいろな話をしたい
と考えています。
よろしくお願いいたします！

増産推進大会

去る2月4日生和糖業内にて増産推進大会を催しました。関係機関・生産農家の方々多数ご参集いただき、増産に向けての意気込みを新たに「がんばろう三唱」で締めくくった！



処理見込み 72,500 t で操業開始
2月19日の見込み検討会で79,000 t に
上方修正しました。



今期の操業計画

今期の操業計画

きび処理見込 79,000 t
搬入圧搾開始 12 月 3 日
搬入終了予定 4 月 2 日
操業終了予定 4 月 4 日

天候や生産見込みの修正により操業計画を変更する場合もあり、それに伴い予定の変更もあります。

欠株を補植して単収アップ!!!

収穫後”株上り”が見られ

欠株が出てしまうかもしれない状況です。

次期の収量を確保するためにも、圃場の様子を見ながら早めの補植をお願いできればと思います。



1. 欠株の原因を見極めてから補植する

乾燥・湿害・病害虫・機械踏圧など、原因が残ったままだと再び欠株になる

特にイネヨトウ・ハリガネムシが多い圃場は、補植前に対策が必要

土壌が硬い場合は軽く耕しておくとう活着が安定する

ポイント

さとうきび補植のコツ

2. 苗の選び方が勝負を決める

健全で太い茎を選ぶ

節間が詰まっていて、芽がしっかりしているものが理想

切り口は清潔にし、腐敗した部分は使わない

3. 植え付け深さは“浅すぎず深すぎず”

目安：5～10cm程度の覆土

深すぎると発芽が遅れ、浅すぎると乾燥で枯れやすい

4. 植えた後の“転圧”がとても重要

土と苗を密着させることで乾燥を防ぎ、根張りが良くなる

足で軽く踏む、または手でしっかり押さえる

アースドリル使用時は、掘った穴の周囲が緩むため特に丁寧な鎮圧が効果的

5. 補植後の水分管理

植えた直後に軽く灌水すると活着が早い

乾燥しやすい圃場では、覆土を厚めにする

6. 補植は“早め”が鉄則

欠株を放置すると周囲の株が横に広がり、補植が難しくなる

台風後などは、できるだけ早く補植するのが吉



補植

アースドリル

増産!!



刈取後の補植作業においてアースドリルを使用して単収アップを目指そう!!!

アースドリルなら補植用の安定した穴が効率的に確保できる。
植え付け深度のばらつきが減少する。
しっかりした穴ができるため、根が広がりやすく乾燥や倒伏のリスクが低減される。

作業者の疲労軽減に効果あり!

1日の補植可能株数が増加できる。
手堀に比べて作業効率が上がり連続して均一な穴が掘れる。
土壌の硬い箇所でも堀削できる。



土壌に穴を開ける



肥料を入れる



きび投入



土をかぶせる



手で押さえる



足で転圧



肥料と一緒にプレバソンを散布すると病害虫防除になる!

新夏植・新秋植の圃場で害虫被害（メイチュウ等）が確認されています。来期の収量確保のために早めの駆除・対応をお願いします。



イネヨトウによる芯枯れ



ドリルの回転部への注意喚起が必要!

注意事項

反動や引き抜く際は要注意!

穴の壁が崩れて苗が傾く事があるので、適度に乾いた状態が良い。

苗の周囲に空洞ができると活着が悪くなる。

安全対策（手袋・長袖・足元の安定）が必須



ドリル使用時は手袋は着用しない!

アースドリルは各集落の協力員に配布しております。ご利用の際は協力員にご連絡をお願いいたします。

編集後記



うるう年

2月は1年で最も短い月ですが、4年に一度、29日まである年を『うるう年』といいます。

これは、地球が太陽の周りを一周する時間が約365.2422日と、ちょうど365日ではないために生じるズレを調整するためです。

こうした仕組みのおかげで、私たちは季節と暦のズレを感じることなく生活できているのです。

この暦の運用方法は、諸説ありますが、古代ローマ時代の名残だといわれています。

さらに、あまり知られてませんが、決まった周期ではなく不定期に1秒だけ時間を足したり引いたりする仕組みの『うるう秒』というものがあります。

過去には『うるう秒』が挿入される瞬間に「23:59:60」となるという珍しい現象が起きサーバーやSNSが一時的に混乱したこともあるそうです。

ちなみに2016年に実施されて以来、『うるう秒』の追加はされてないです。



次はいつになるか・・・楽しみです

